

## 2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 日本PCサービス株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6025 URL http://www.j-pcs.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家喜 信行  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 稲田 恵 TEL 06-6734-7722  
 半期報告書提出予定日 2025年4月14日 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	3,234	7.6	2	△88.9	1	△92.7	△12	-
2024年8月期中間期	3,005	△5.0	25	-	16	-	49	-

(注) 包括利益 2025年8月期中間期 △24百万円 (-%) 2024年8月期中間期 68百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	△7.23	-
2024年8月期中間期	28.49	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期中間期	2,357	241	10.2	138.74
2024年8月期	2,100	265	12.6	152.56

(参考) 自己資本 2025年8月期中間期 241百万円 2024年8月期 265百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年8月期	-	0.00	-	-	-
2025年8月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	8.5	204	75.6	184	93.6	120	13.1	69.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期中間期	1,739,800株	2024年8月期	1,739,800株
② 期末自己株式数	2025年8月期中間期	212株	2024年8月期	212株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年8月期中間期	1,739,588株	2024年8月期中間期	1,739,588株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(中間連結損益計算書に関する注記) .....	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部に足跡が残るものの、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、通商政策などアメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループが属する情報通信サービス業界におきましては、コロナ禍で加速した社会のDX化に加え、Windows10のサポート終了に伴い、情報通信ネットワーク機器の修理、メンテナンス等は、ますます社会的必要性の高まりを見せております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、以下の施策に注力し、2025年8月期を最終年度とする中期経営計画（連結売上高68億円、連結営業利益率3%）達成へ向け、事業活動を行っております。

- ① 「デジタルホスピタル」戦略による個人向けサポートの事業成長
- ② 法人DXサポート領域のシェア拡大
- ③ 新規事業「IoTリフォーム」の拡大

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は3,234百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は2百万円（前年同期比88.9%減）、経常利益は1百万円（前年同期比92.7%減）、親会社株主に帰属する中間純損失は12百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益49百万円）となりました。

なお、当社グループの主要な事業は、パソコン、タブレット端末、スマートフォン、家庭用ゲーム機器、及びデジタル家電等のネットワーク対応機器に関する設定設置やトラブルに対し、訪問または電話で対応、解決するサービスの提供や、店舗に持ち込まれた機器の修理やトラブル解決を行っており、事業セグメントはスマートライフサポート事業による単一セグメントであります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間連結会計期間末における資産の残高は2,357百万円（前連結会計年度末比257百万円増）となりました。主な要因は、売掛金が525百万円（前連結会計年度末比50百万円減）となった一方で、現金及び預金が892百万円（前連結会計年度末比225百万円増）、商品が320百万円（前連結会計年度末比58百万円増）となったことによるものです。

##### (負債)

当中間連結会計期間末における負債の残高は2,116百万円（前連結会計年度末比281百万円増）となりました。主な要因は、未払費用が75百万円（前連結会計年度末比46百万円減）となった一方で、長期借入金が649百万円（前連結会計年度末比335百万円増）となったことによるものです。

##### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は241百万円（前連結会計年度末比24百万円減）となりました。主な要因は、利益剰余金が△275百万円（前連結会計年度末比12百万円減）となったことによるものです。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、892百万円（前連結会計年度末は666百万円）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、105百万円（前年同期は6百万円の使用）となりました。この主な要因は、税金等調整前中間純損失が4百万円となり、棚卸資産が58百万円増加、未払費用が46百万円減少したことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、34百万円（前年同期は3百万円の使用）となりました。この主な要因は、敷金及び保証金の差入による支出が18百万円、有形固定資産の取得による支出が9百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、365百万円（前年同期は6百万円の使用）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出が154百万円、社債の償還による支出が10百万円あった一方で、長期借入れによる収入が530百万円あったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期通期の連結業績予想につきましては、2024年10月11日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	666,561	892,474
売掛金	576,018	525,618
商品	261,394	320,016
貯蔵品	2,524	2,975
前払費用	122,150	135,605
その他	74,531	76,025
貸倒引当金	△32,953	△38,079
流動資産合計	1,670,226	1,914,636
固定資産		
有形固定資産	47,273	49,123
無形固定資産		
のれん	128,721	114,745
その他	26,137	33,805
無形固定資産合計	154,858	148,551
投資その他の資産		
投資有価証券	37,570	21,064
差入保証金	105,317	119,761
繰延税金資産	46,374	64,382
長期貸付金	71,474	61,198
その他	24,251	26,969
貸倒引当金	△57,155	△48,324
投資その他の資産合計	227,833	245,052
固定資産合計	429,966	442,726
資産合計	2,100,192	2,357,363
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	112,062	125,680
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	212,353	252,318
未払金	286,711	294,262
未払費用	122,870	75,953
未払法人税等	28,761	30,149
賞与引当金	12,650	13,453
契約負債	177,250	154,270
その他	136,732	102,717
流動負債合計	1,459,392	1,408,805
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	313,841	649,718
その他	21,569	17,484
固定負債合計	375,410	707,202
負債合計	1,834,803	2,116,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	360,058	360,058
資本剰余金	156,566	156,566
利益剰余金	△263,146	△275,722
自己株式	△433	△433
株主資本合計	253,044	240,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,345	886
その他の包括利益累計額合計	12,345	886
純資産合計	265,389	241,355
負債純資産合計	2,100,192	2,357,363

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	3,005,455	3,234,605
売上原価	1,799,967	2,069,443
売上総利益	1,205,488	1,165,161
販売費及び一般管理費	1,180,444	1,162,380
営業利益	25,043	2,781
営業外収益		
受取利息	368	837
受取配当金	314	78
貸倒引当金戻入額	—	3,404
助成金収入	2,592	—
その他	1,162	1,431
営業外収益合計	4,438	5,752
営業外費用		
支払利息	5,561	7,011
貸倒引当金繰入額	6,562	—
その他	924	318
営業外費用合計	13,048	7,329
経常利益	16,433	1,204
特別利益		
投資有価証券売却益	1,425	—
子会社株式売却益	61,893	—
その他	83	—
特別利益合計	63,402	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	5,674
特別損失合計	—	5,674
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	79,836	△4,470
法人税等	30,270	8,104
中間純利益又は中間純損失(△)	49,565	△12,575
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	49,565	△12,575

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益又は中間純損失(△)	49,565	△12,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,920	△11,458
その他の包括利益合計	18,920	△11,458
中間包括利益	68,486	△24,033
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	68,486	△24,033

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	79,836	△4,470
減価償却費	28,353	11,231
のれん償却額	41,463	13,975
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,794	803
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,077	△3,705
受取利息及び受取配当金	△682	△916
支払利息	5,561	7,011
子会社株式売却損益(△は益)	△61,893	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,425	—
固定資産除売却損益(△は益)	△83	2,300
売上債権の増減額(△は増加)	△59,856	51,103
未収入金の増減額(△は増加)	△11,982	4,315
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,458	△58,622
仕入債務の増減額(△は減少)	42,139	13,618
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,546	△28,583
未払費用の増減額(△は減少)	2,365	△46,917
その他	△16,038	△40,801
小計	21,625	△79,656
利息及び配当金の受取額	682	916
利息の支払額	△5,429	△7,019
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△23,748	△20,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,869	△105,765
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,349	△9,180
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△7,662	—
敷金及び保証金の差入による支出	△4,110	△18,931
投資有価証券の取得による支出	△199	—
投資有価証券の売却による収入	9,425	—
その他	4,351	△6,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,544	△34,162
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	170,000	530,000
長期借入金の返済による支出	△156,962	△154,158
社債の償還による支出	△20,000	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,962	365,842
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,376	225,913
現金及び現金同等物の期首残高	664,506	666,561
現金及び現金同等物の中間期末残高	647,129	892,474

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
給与手当	295,371千円	291,874千円
賞与引当金繰入額	5,722	3,323
貸倒引当金繰入額	△1,711	△300
広告宣伝費	153,110	150,614

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
現金及び預金勘定	647,129千円	892,474千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	647,129	892,474

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社グループは、スマートライフサポート事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。